

武蔵村山市立歴史民俗資料館報

資料館だより

第 19 号

平成 5 年 7 月 25 日

編集・発行 武蔵村山市立歴史民俗資料館

武蔵村山市本町5-21-1 TEL 0425(60)6620



写真 1 長野県下水内郡栄村小赤沢集落
(姉妹都市)

特別展 「写真で見る姉妹都市栄村」

期間 平成5年7月25日～9月12日

1 姉妹都市 栄村

武蔵村山市では市制施行20周年の記念事業として、平成2年に長野県下水内郡栄村と姉妹都市提携を行いました。

栄村は長野県の東北端に位置し、日本一の豪雪地帯として知られています。なかでも、中津川溪谷沿いの秋山郷はかつて秘境といわれていましたが、今では「山といで湯の里」として多くの人々が訪れています。

a 栄村の四季・風景 (写真2～写真8)

栄村の四季といえば、やはり7.85メートルの「日本最高積雪地点」(JR飯山線森宮野原駅)があるとおり、厳しい冬の雪が印象的です。それゆえに春の新緑、夏の花、秋の紅葉も鮮やかに映ります。

栄村南部の秋山郷は中津川の作りだした溪谷で、苗場山や鳥甲山など2,000メートル級の山々に囲まれた険しい地域です。

b 栄村の集落 (写真1・写真9・写真10)

栄村の集落は、千曲川のほか志久見川、中津川などの河川が作りだす河岸段丘上や千曲川南部の台地上

2 鈴木牧之の著作に見る秋山郷

江戸時代後期に越後国魚沼郡塩沢が生んだ文化人鈴木牧之の著書「北越雪譜」は雪国の生活を紹介し、ロングセラーとなりました。その中で信越国境の秋山郷は秘境として取りあげられました。

に形成されています。いずれもわずかな平坦地を開けたもので、数軒から数十軒単位で構成されています。

c 栄村の文化財 (写真11～写真14)

栄村には有形、無形の貴重な文化財が数多く残されています。村域が270平方キロメートルと広いことも関連するのですが、特に900を越える数の石仏類には驚かされます。

また、近年まで雪や険しい山々によって他地域との交流が思うに任せなかった秋山郷には有形、無形を問わずたくさんの民俗文化財が残されています。

d 栄村の民芸品 (写真15・写真16)

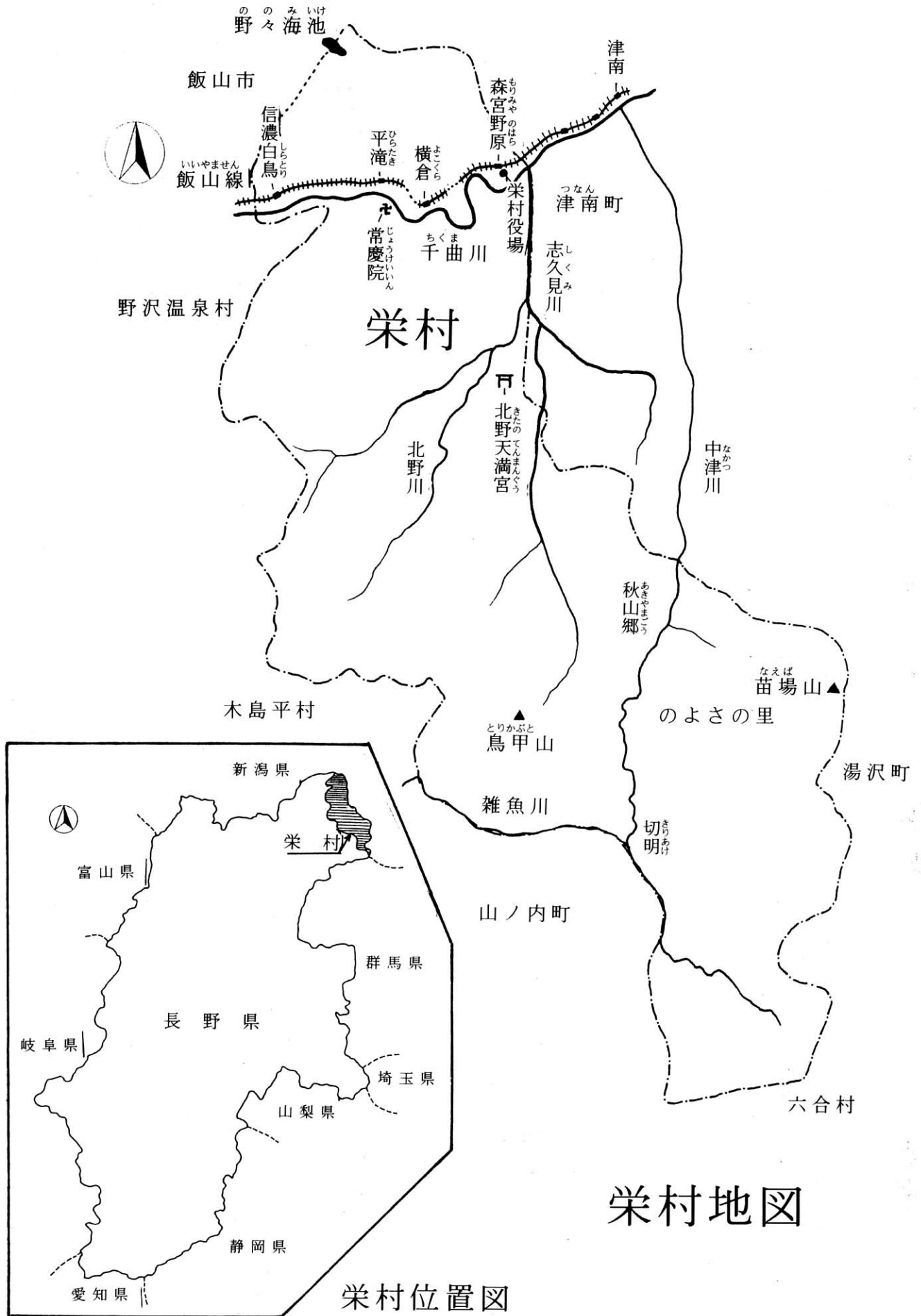
栄村の観光土産として作られているネコツグラ(ワラ細工)、内山紙などの民芸品は雪深い冬の副業から発展したものといえるでしょう。

ワラぐつなどを編む技術や昔ながらの紙漉きの技術も本来、生活の必要から生まれた貴重な無形民俗文化財なのです。

また、別著「秋山記行」は7日間の秋山郷取材旅行に基づき書きあげられたもので、いにしへの秋山郷を知る貴重な文献となっています。さし絵も多く、秘境の様子をよく伝えています。



秋山絶壁の図 (北越雪譜より)



栄村地図

栄村位置図

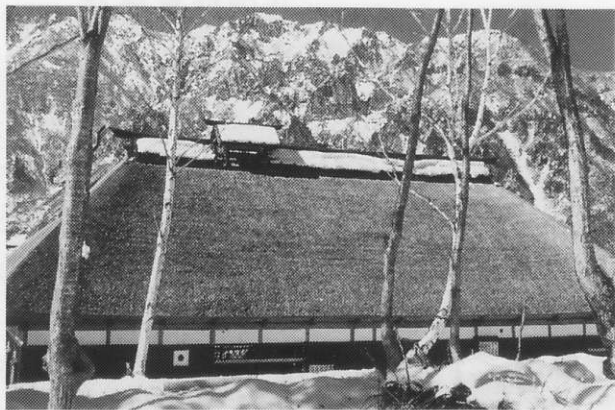


写真2 のよさの里^{ほくし}牧之の宿^{やど}と鳥甲山^{とりかぶと}



写真4 屋根の上に積もる雪



写真5 楽しむさと太鼓



写真7 柱状節理^{ちゅうじょうせつり}の見事な布岩^{ぬのいわ}



写真3 日本最高積雪地点標柱^{ひょうちゅう} (森宮野原駅)



写真6 雑魚川^{ざこがわ}上流の大滝



写真8 苗場^{なえば}山頂の湿原^{しつげん}



写真9 横 倉 集 落



写真10 中 野 集 落



写真11 常 慶 院 山 門



写真12 秋山郷保存民家福原家住宅



写真13 秋 山 郷 の 焼 畑



写真14 小正月のドウロクジン



写真15 ネコツグラづくり



写真16 ワ ラ ぐ つ

武蔵村山市吉祥院境内採集の茶臼
きちじょういん けい だい ちやうす

1 はじめに

平成3年7月28日、市内本町4丁目にお住まいの永瀬永由氏から石臼2点の寄贈を受けた。これらの石臼は永瀬氏の管理する吉祥院境内の池から採集したと
 のことである。1点は原形をほとんど止めないほど風
 化（あるいは磨滅か）した粉挽き臼の下臼であると思
 われる。もう1点は臼部の周囲に受け皿を有する、い

わゆる茶臼の下臼であった。

市内での茶臼の発見はこれが初めてであり、東京都内でも中世から近世にかけての割合限定された遺跡でしか出土しないこともあり、本稿において紹介することとする。

2 採集地点

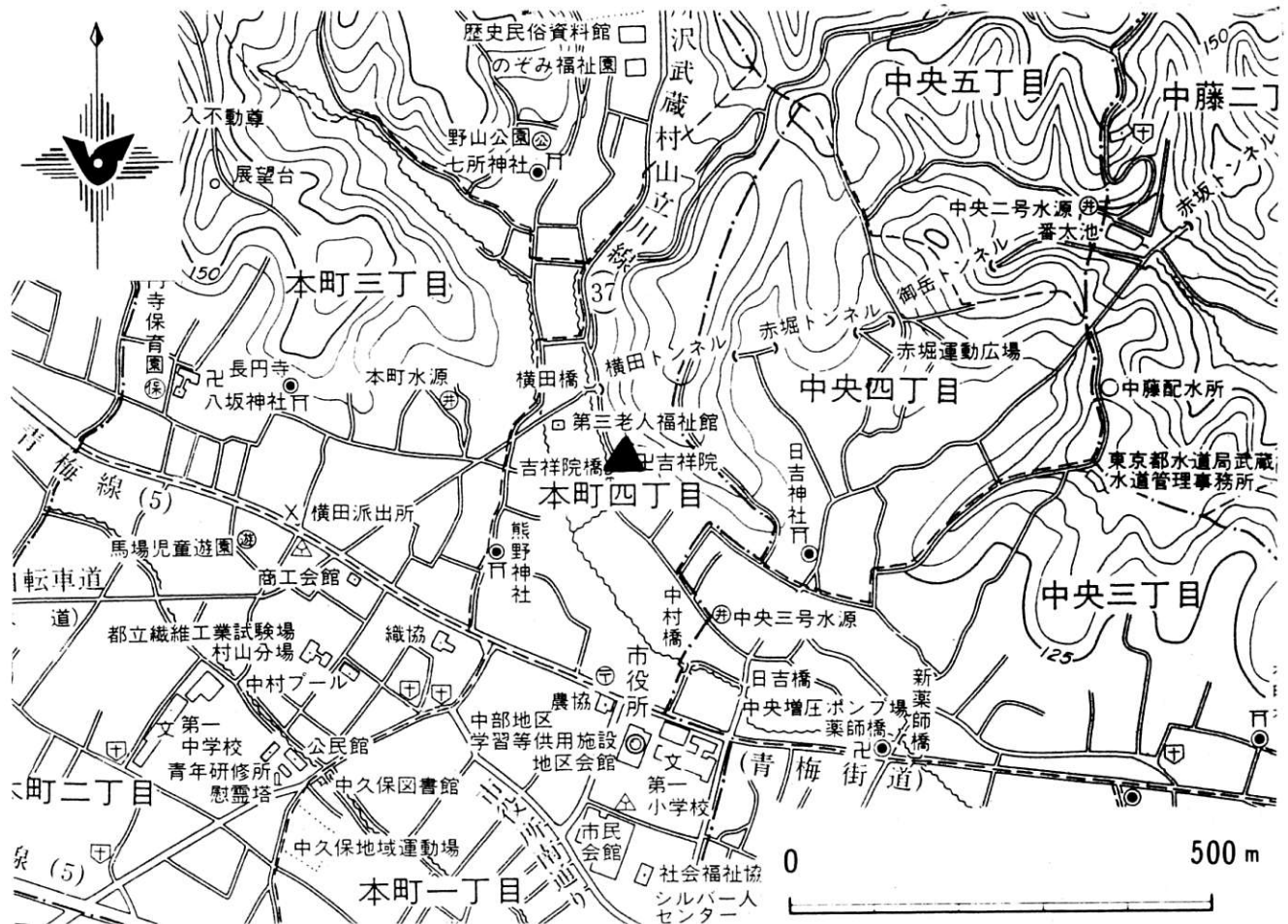
本茶臼は武蔵村山市本町4丁目34番地に所在する吉祥院境内の池で採集された。この池は吉祥院本堂西側
 側にあり、湧水を溜めてできている。ちなみに著名な吉祥山遺跡は本地点の北東方向の台地上に位置する。

永瀬氏によれば、「池の清掃に際して、護岸用のためか岸辺に埋め込まれていた数点の石臼を引き抜いてきた。」とのことであった。数点の石臼とは前に述べた粉挽き臼と三つに割れていた本茶臼のことである。

3 資料の紹介

本資料は受け皿周縁部を欠くものの、ほぼ茶臼下臼の形状を知ることができる。先述のとおり三つに割れており、各破片が接合した。それぞれの破片の大きさ

の割合はおよそ1/2、1/3、1/6である。部分的に赤色化あるいは黒色化した箇所が見られ、火を受けたものと思われる。



茶臼採集地点（▲印）

白部最大径18.8cm、白部高さ（受け皿部からの高さ）4.6cm、白部のふくみ（下臼の場合ふくらみ）は0.3cmである。受け皿部は欠損しているため全体の計測は不可能であるが、残存部幅は7.6cmである。芯棒孔は上端部径が3.5cm、中央くびれ部径2.9cm、下端部径4.9cmを計る。台部の最大径は25.8cm、台部高さ4.9cm、全体の器高は12.9cmである。

白部の分画数は非常に粗雑な8分画である。そのた

4 まとめ

本茶臼は池の岸辺から割れた状態で検出されたということ、また火を受けていること、受け皿部が大きく欠損していることなどから廃棄されたものと考えられることができる。中世、近世の遺跡において、井戸跡から石臼が二つに割れた状態で検出される例はしばしばみられる。

では、使用時の状況について推定するならば吉祥院との関係を考えるのが最も妥当であろう。吉祥院は近世の村でいえば横田村に所在する寺であり、中藤村長円寺（曹洞宗）の末寺である。本堂北西側には横田村及び中藤村中村地区の人々の墓地が所在するが、現在では無住の寺である。寺伝では長円寺三世の竹同吞行和尚によって江戸時代初め頃、開山されたといわれている。

茶臼自体の年代観については、はっきりしないが、本茶臼は葛西城、日野市栄町遺跡、多摩ニュータウンNo.457遺跡など中世遺跡出土のものより雑な作りで、しかも丈が高い。このことから近世以降に作られ、使用されたものと判断しておきたい。

喫茶の風習が近世以降どのように農村部に広がっていくのか判らないが、いずれにしろ茶臼を使って抹茶を挽くという行為は特殊な人々（禅宗の僧侶など）によってのみ行われたのであろう。（文責 山田義高）

〈参考文献〉

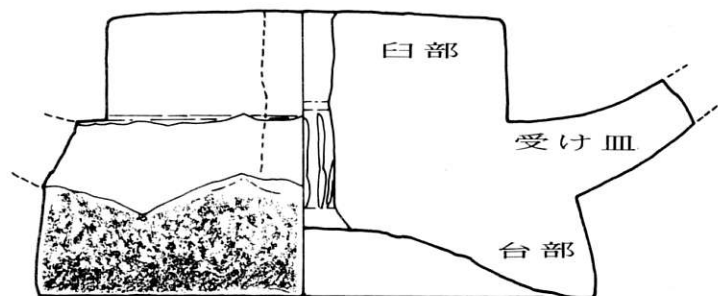
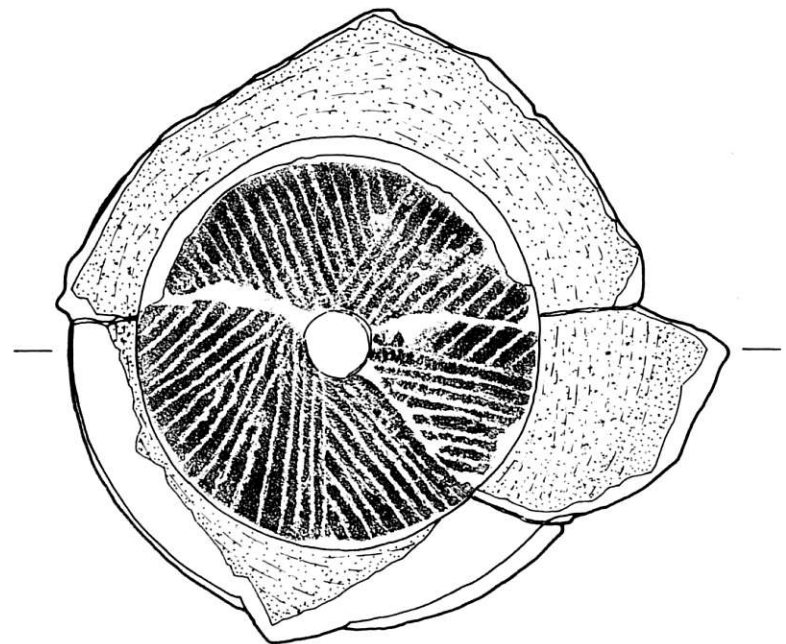
三輪茂雄 ものとなりの文化史25
白（法政大学出版局）

め、溝の数も4本から17本までと不規則である。台部表面には凸凹を残しながらも磨きが施されている。芯棒孔下半には長く工具痕がみられ、台部底面（裏側）には荒々しいノミ痕を残している。石質は砂岩である。

本茶臼の特徴は白部の分画が非常に雑である。また、葛西城、日野市栄町遺跡、多摩ニュータウンNo.457遺跡出土のものなどと比較すると白部及び台部が高く、全体の器高もやや高いようである。

小林和男

日野市栄町遺跡に於ける戦国期の様相
「多摩のあゆみ第四十号」（多摩文化資料室）



0 10 cm

茶 臼 実 測 図

歴史民俗資料館行事予定表 (平成5年8月～平成6年3月)

講座等名称		開催日時	場所
特別展「写真で見る姉妹都市栄村」		9月12日(日)まで	資料館
体験教室 (親子)	②縄文土器づくり	8月4日(水) AM9:00～正午	〃
	③縄文土器焼き	8月25日(水) AM9:00～PM3:00	〃
	④さつまだんごとゆでまんじゅう	10月9日(土) AM10:00～正午	〃
	⑤手打ちうどんづくり	11月13日(土) AM10:00～正午	〃
	⑥モチつき	12月11日(土) AM10:00～PM3:00	〃
地域の文化財めぐり③横田・中村・馬場		9月11日(土) AM10:00～正午	資料館ほか
〃	④残堀・岸	1月8日(土) AM10:00～正午	〃
〃	⑤宿・後ヶ谷戸・岸	2月12日(土) AM10:00～正午	〃
歴史講座(全2回)		11月(日時未定)	資料館
民俗学講座(全3回)		3月(日時未定)	〃

資料館利用状況 (平成4年4月1日～平成5年3月31日)

項目 月別	開館日	総利用者数	市内		市外	
			人数	割合	人数	割合
H4・4	24日	1,068人	626人	58.6%	442人	41.4%
5	24	672	324	48.2	348	51.8
6	18	478	209	43.7	269	56.3
7	26	972	470	48.4	502	51.6
8	25	1,440	699	48.5	741	51.5
9	23	610	291	47.7	319	52.3
10	25	716	348	48.6	368	51.4
11	22	1,012	704	69.6	308	30.4
12	22	368	174	47.3	194	52.7
H5・1	22	526	306	58.2	220	41.8
2	22	1,013	706	69.7	307	30.3
3	24	888	585	65.9	303	34.1
合計	277	9,763	5,442	55.7	4,321	44.3